

日本一のツル渡来地、出水平野には一万羽を超えるツルが越冬のために渡来しています。(10月中旬~3月下旬)

コースの周辺では2羽~4羽単位で餌を啄むほのぼのとした家族連れのツルたちが皆さんを応援します。途中には日本最古の禅寺「鎮国山感応寺」があり、どこかで見たような懐かしい日本の風景が広がる出水の地で優雅な舞を見せるツルに会いに来てください。

鎮国山感応寺

建久5年(1194年)島津家初代忠久が創建し臨済宗禅の祖栄西禅師が開山した日本最古の禅寺で、島津家菩提寺として栄えたところです。

寺宝として、県指定重要文化財の十一面千手観世音菩薩像と脇立四天王像の5体の木造が所蔵されているほか、様々な文化財が保存されています。境内には、忠久、忠時、久経、忠宗、貞久の島津家5代の墓碑、五廟社が残されています。



SL「C5692」
(出水駅前に展示)
1937(昭和12)年製。重量35トン、全長9.2メートル、高さ4メートルで72年の太陽国体で御召列車を引く大役を果たした。



**ツル博物館
クレインパークいずみ**
なぜツルは出水に来るのだろう?その答えがここにある。



ツル観察センター
美しいツルの舞を360度のパノラマで眺望。